



# 隣保館の職員育成は

山本 一也 議員

答 人権意識を持たせる



**山本** この4年間を総括し、どのような職員育成をすべきか、市長の考えは。  
**市長** 地域住民の福祉の向上や地域に密着したコミュニティセンターとして、生活上の相談事業や人権課題解決のための事業を総合的に実施しております。

そ、誰もが暮らしやすい地域づくりへの第一歩であると認識し、総合計画で目指す「協働のまちづくり」のため、今後もその役割を担ってまいりたいと考えています。  
全職員が業務に活かせるよう推進します。



▲ 大柿厚生文化センター



# 原油高騰に対する支援措置を

石下 洋子 議員

答 県と連携して実施したい

**石下** 原油価格の高騰が市民生活や農漁業、中小企業に大きな打撃を与えている。自治体は、特別融資や直接補てんを行っている。本市においても支援措置を講じるべきと思うが。  
**市長** 燃油価格高騰に対する事業者への支援として当面、県と連携して特別融資にかかる利子補給を考えている。

病院にいけないうち子どもをなくして欲しい

**石下** 国民健康保険料を滞納して、保険給付を差し止められ、無保険状態の子どもの多数いることがわかり、制度運営に批判の声があがっていることから、厚労省は無保険

状態の子どもは何人か、資格証明書発行前に滞納者に電話や訪問で接触しているか、子どもがいる世帯に配慮しているか等について調査することを明らかにした。  
本市の状況はどうか。  
また、今後、無保険の子どもに対してどういう措置をするか。  
**市長** 5月5日現在、資格証明書交付世帯は43世帯、うち子どもがいる世帯は2世帯で、小学生1名、中学生2名である。

資格証明書発行前は、電話や訪問により、実態を把握している。納付の方向で相談に応じてもらえれば短期証に切り替える。

4年間の市政の総括を

**石下** 合併後の4年間、市長はどういう江田島像を描き、何を最優先課題としてきたか。  
そして、この4年間にどういうことが課題として残されたか。  
**市長** 住みよい地域づくりを目標に

1 各種基本計画を策定  
2 一市4町制度の平準

3 学校統合  
4 小用・中町港の整備  
5 バス路線の一元化  
6 下水道事業の促進  
7 市営住宅整備  
などの施策を講じ、一定の成果を残せたと思う。やり残したことは、庁舎の問題、子どものための環境整備など。行財政改革は引き続き進めていくべきものと思う。



▲ 鹿川貯蔵タンク

# 秋月処分場の説明を広報に！

胡子 雅信 議員

答 すでに市民は知っている

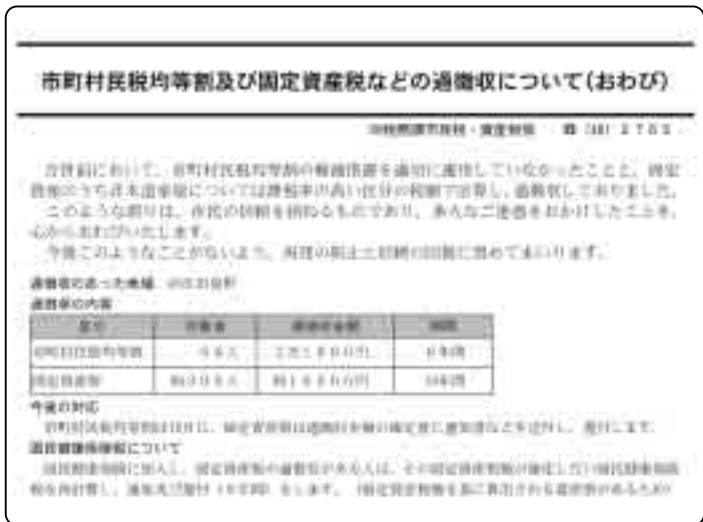
い。適正化するのが市の責務である。

いは釈明する意思はない。すでに広く市民に伝わっていると認識している。広報で知らせることはない。

**胡子** 市民に広く知られていない。広報に掲載されることを要望します。

**胡子** 本年度予算ベースで事業費1億175万円は、市にとって痛手。3月定例会で市長は経過等の周知は議会・委員会・全員協議会で説明しているというものであったが、広報で市民に説明すべき。処分場が不法な状態の間市長は旧江田島町の要職を歴任されているが、初代市長として、市民に対してどう説明されるのか改めて伺う。  
**市長** 事業費は1億5200万円、期間は本年10月から来年11月。安全・環境面を考慮しつつ、費用低減できるような設計・積算している。新聞などで報道されており、また、市民の代表である市議会等で十分説明しているので、改めて周知しな

**胡子** 本年1月の【広報えたじま】で【市町村民税均等割および固定資産税などの過徴収について】のおわび記事を掲載している。過徴収のあった地域（旧江田島町）および対象者は限定的だが、市民の信頼を損ねるものがあり、多大なご迷惑をおかけしたことを説明している。そうであるならば、秋月処分場は過去（旧江田島町時代）の不適切な取り扱いで市全体に損害を与え、市民一人当たり約5、600円の税負担をお願いする以上、広報紙で説明すべきでは。  
**市長** 市民一人一人にこの件について、報告ある



▲ 広報えたじま 1月